

熊本県産業振興ビジョン2011（全体像）

本県産業を取り巻く環境

- ・新興国の台頭と経済のグローバル化の進展
- ・消費者ニーズの多様化と安心安全志向の高まり
- ・循環型社会・低炭素社会の実現へ
- ・オープンイノベーションによるビジネスモデル

本県産業のポテンシャルと課題

【マクロの視点】

- ・ビジネス展開に地理的優位性
- ・半導体や自動車関連産業で産業集積を形成
- ・豊かな地域産業資源
- ・国際競争の激化、人材不足、県域外収支赤字

【ミクロの視点】

- ・独自の高い技術を有する企業の成長
- ・研究開発機能の県内移管の動き
- ・下請企業から提案型企業への転換
- ・ブラックボックス化とオープン化の推進

現状分析

基本姿勢

●中小企業が直接海外とつながり、グローバルな市場で勝ち残るための高い「競争力」を持ったリーディング産業群の育成

●「選ばれる製品・サービス」「選ばれる企業」を目指し、産学行政が一体となり、「持続可能な社会」と「稼げる県」を支える産業群を形成

3つのポイント
基本姿勢と

オープンイノベーションによる
新たなビジネスモデルの構築

県域外からの収入の獲得

成長分野への
重点的な産業振興

重点戦略

連携融合化のための戦略

- 試作・新製品開発技術拠点機能の整備・充実
- 材料技術支援拠点機能の整備・充実
- 事業革新支援拠点機能の整備・充実
- 産業人材活用システムの整備・充実

県域外からの収入獲得戦略

- 国際展開の支援機能の拡充
- 県境・国境を越えた取引拡大の推進
- 人的ネットワークの開拓及び活用

重点成長分野フォレスト形成戦略

- セミコンダクタフォレストの形成戦略
- モビリティフォレストの形成戦略
- クリーンフォレストの形成戦略
- フード&ライフフォレストの形成戦略
- 社会・システムフォレストの形成戦略

未来像に向けた戦略

基本戦略

マクロ戦略

- 新産業の創出
- 企業誘致
- 国際化への対応
- 九州の連携拠点を目標として
- 地域特性を活かした産業振興
- 産業インフラの整備促進

ミクロ戦略

- 支える（企業サポート体制）
- 交わる（企業間交流、オープンイノベーション推進体制）
- 育てる（企業人材育成体制）
- 拡げる（企業認知向上体制）

“選ばれる熊本”を実現するリーディング産業群の形成
～ くまもとテクノフォレスト・シナジーの誘発 ～

未来像